

松本市地域づくり推進交付金実績報告書(抜粋)

(申請者) 入山辺地区町会連合会

1 交付決定額	I	金 500,000 円
---------	---	-------------

2 本年度実績の報告

(1) 本年度の交付金事業の報告

① 事業名: 入山辺地区の将来ビジョンを考える会 定例会等運営				
実施主体	入山辺地区の将来ビジョンを考える会			
実施日(期間)	令和4年4月1日から令和5年3月31日			
実施場所	入山辺公民館			
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループごとによる討議とまとめ</li> <li>・事業内容確認及び先生による指導</li> <li>・ホームページの管理や会の運営等</li> </ul>			
地域づくりの成果・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月の定例会には30名程度の参加があった。定期的に地域課題に向き合うことにより、郷土への愛着心を育むことができた。</li> <li>・松本大学の向井 健 准教授からグループの活動等の振り返りや今後の実施計画について指導を受けることで、会員が地域活性化につながる着想のヒントを得ることができた。</li> <li>・定例会において討議を継続することで、住民相互の思いや活動の工夫を共有している。</li> </ul>			
課題	新規会員が会の趣旨・目的や取り組む課題・テーマについて理解し、会員それぞれが関心をもっていることや取り組めることを話し合える場にしていきたい。			
決算額	a+b+c	財源内訳		
		a	b	c
	120,413円	120,413円	円	円

a : 本年度の交付金額のうち、この事業に充当した額

b : 前年度の交付金の繰越額のうち、この事業に充当した額

c : この事業に充当したその他の財源の額

② 事業名: 入山辺地区の将来ビジョンを考える会 観光と魅力発信グループ			
実施主体	入山辺地区の将来ビジョンを考える会		
実施日(期間)	令和4年4月1日から令和5年3月31日		
実施場所	入山辺地区内		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山辺パノラマライン沿いの藤棚、旧霞山荘周辺の整備</li> <li>・集落案内板の補修</li> <li>・ガイドマップおよびウォーキングマップの増刷</li> <li>・山辺ワイナリー掲示板へ行事等写真の掲出(毎月)</li> <li>・HPやSNSを利用した広報活動</li> <li>・地域魅力発信動画の企画、作製</li> </ul>		

地域づくりの成果・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区内外の方が地区内を散策することが増え、地区の魅力を知ってもらい、訪れたい・住んでみたい入山辺の実現につながっていると考える。</li> <li>・地区の魅力や活動内容を写真等で発信することで、取り組んでいる会員に限らず、地域の住民が知る機会となり、地域に愛着と誇りを感じる効果を生んでいる。</li> </ul>			
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域資源をどのように地域の魅力として活用していくか。</li> <li>・地域資源の掘り起こしと地域の活動等のさらなるPR方法の検討</li> </ul>			
決算額	a+b+c	財源内訳		
		a	b	c
	496,786円	265,208円	円	231,578円

③ 事業名：入山辺地区の将来ビジョンを考える会 食農振興グループ				
実施主体	入山辺地区の将来ビジョンを考える会			
実施日(期間)	令和4年4月1日から令和5年3月31日			
実施場所	入山辺地区内			
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなのSOBAで楽し味隊(蕎麦づくり)</li> <li>・田んぼのわプロジェクト(もち米づくり)</li> <li>・山辺小学校体験学習支援(もち米づくり)</li> </ul>			
地域づくりの成果・効果	遊休農地を活用したもち米や蕎麦の栽培に継続して取り組み、住民同士の絆づくりや世代間を超えた交流の場をつくっている。			
課題	親子や若者が気軽に参加しやすいように企画内容を工夫し、事業開催の周知方法を検討していく。			
決算額	a+b+c	財源内訳		
		a	b	c
	48,258円	48,258円	円	円

④ 事業名：入山辺地区の将来ビジョンを考える会 住みやすい地域づくりグループ				
実施主体	入山辺地区の将来ビジョンを考える会			
実施日(期間)	令和4年4月1日から令和5年3月31日			
実施場所	入山辺地区内			
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・景観整備(ハナモモ周辺の草刈り等メンテナンス・県道沿い花畑の整備)</li> <li>・地域に住む中学生との交流(山辺中学校生徒会と合同での花植え・薪割り体験の実施)</li> <li>・送迎ボランティア活動の推進</li> <li>・サロン「赤ちょうちん」の開催(新型コロナウイルス感染防止のため中止)</li> <li>・ゆめ食堂の開催(新型コロナウイルス感染防止のため中止)</li> <li>・つながりの会開催(新型コロナウイルス感染防止のため中止)</li> </ul>			
地域づくりの成果・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町会の役員等にご協力いただき、平成25年から植栽してきたハナモモや桜等を管理しており、地域全体で自然と眺望が魅力の景観を保全する機運をつくり出している。</li> <li>・地域に住む子どもたちやご高齢の方々が地域の活動等に興味をもってもらい、地域と関わる姿勢を育んでもらうための足掛かり的な事業を続けていきたい。</li> <li>・住民同士の交流を促す事業は実施できなかったが、令和3年度にDIYグループと共同で作製した飛沫防止パーテーションを活用し、ウィズコロナ、ポストコロナに適した交流の仕方を会員で継続して模索している。</li> </ul>			

課 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民が住みやすい環境をつくるため、自然環境の整備と子育て・高齢者支援に資する取り組みを具体的に検討していく。</li> <li>・ここ3年間実施できなかった交流の場を状況に合わせた形で実施できるように検討していく。</li> </ul>			
決 算 額	a+b+c	財 源 内 訳		
		a	b	c
	30,935円	30,935円	円	円

⑤ 事業名： 入山辺地区の将来ビジョンを考える会 DIYグループ				
実 施 主 体	入山辺地区の将来ビジョンを考える会			
実施日(期間)	令和4年4月1日から令和5年3月31日			
実 施 場 所	入山辺地区内			
事 業 概 要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・製作物のメンテナンスと地域のイベント等での活用</li> <li>・小型ピザ窯「じゃんドラ・サン」の製作</li> <li>・ピザ窯製作体験会の実施</li> </ul>			
地 域 づ くり の 成 果 ・ 効 果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年度にドラム缶で作製した組み立て式ピザ窯「じゃんドラ君」や平成30年度に作製した「灰ころがしおやき・うすやき器」を補修および改良を重ねている。地域の各種イベントで活用することで住民の寄合いの場につながる。</li> <li>・地域づくりの活動に活用できる製作物を会員のアイデアを出し合って製作することで、会員の主体的な活動が促進されている。</li> </ul>			
課 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会員やそれ以外の方から製作物のアイデアを募ったり、製作物の利用機会を増やしていくことで、人と人とのつながりづくりや絆づくりに取り組んでいきたい。</li> </ul>			
決 算 額	a+b+c	財 源 内 訳		
		a	b	c
	25,186円	25,186円	円	円

⑥ 事業名： 東山部不用食器回収活動				
実 施 主 体	入山辺地区の将来ビジョンを考える会、農村女性協議会(入山辺地区、本郷地区、旧市、中山地区)、入山辺地区町会連合会、入山辺地区衛生協議会、安全協会入山辺支部、入山辺地区町内公民館長会、入山辺公民館、入山辺地区地域づくりセンター			
実施日(期間)	令和4年4月1日から令和5年3月31日			
実 施 場 所	入山辺地区内			
事 業 概 要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不用食器回収活動についての学習会</li> <li>・不用食器回収活動および「もったいない市」の開催</li> </ul>			
地 域 づ くり の 成 果 ・ 効 果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実行委員会を組織し、活動の理念を共有しながら、取り組みの具体的な進め方を決めるというプロセスを経て、関係する団体や住民有志が広く活動に参加することにつながった。</li> <li>・入山辺地区のみでなく、他地区からも多くの来場者があり、市民活動として不用食器の回収からリユース・リサイクルまでの循環を推進する動きに広まる一助となった</li> </ul>			
課 題	活動に対して会の関わり方を検討しつつ、会員が主体的に取り組みに参加できるように促進していかなければならない。			
決 算 額	a+b+c	財 源 内 訳		
		a	b	c
	10,000円	10,000円	円	円

決算額(計) (①+②+③+④+ ⑤+⑥)	A+B+C	財源内訳		
		A	B	C
	731,578円	500,000円	円	231,578円

A : 各事業のaの合計額

B : 各事業のbの合計額

C : 各事業のcの合計額

(2) 本年度の積立実績の報告

該当なし

(3) 本年度の交付金のうち、翌年度に繰り越す金額の報告

I-A-D	金	円
-------	---	---

[参考]繰越上限額=I×2/10